

6 本時の学習(25/42時)

(1) ねらい

- ・「明日へつなく、わたしの30周年記念プロジェクト」の取り組みの様子を互いに伝え合ったり、問題解決に向けて情報を交換し合ったりすることを通して、自分の取り組みを見直すことができる。
- ・自分のくらしを見つめ、互いのよさに学び合いながら、活動への追究意欲を高めることができる。

(2) 展開

学 習 活 動	教師の支援と評価
<p style="text-align: center;">「明日へつなく、わたしの30周年記念プロジェクト」の活動を進めてきた今の思いを話し合おう。</p> <p>1 「明日へつなく、わたしの30周年記念プロジェクト」は、うまくいっているかどうかについて話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">うまくいっているよ</div> <div style="font-size: 2em;">↔</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">困っているよ</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>学校の歩みがわかる記念誌を作っているよ。とても順調だよ。 学校のためにいろいろ世話してくれている金田さんを紹介する新聞を作ったよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>元気のいいあいさつを広めようと思って朝、たくさんの人に元気のいいあいさつをするようにしているよ。でも、あんまりあいさつしてくれない。あいさつを返してくれないととても悲しいよ。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">活動の意味の問い直し</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">協力</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">見方・考え方の深まり</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">共感</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> <p>自分は何かを作ることだけ考えていた。金田さんの素晴らしさを伝えるのはもちろん、自分がどんなことを感じ、みんなにどんなことを感じてもらいたいかをもっと考えていかないとだめだ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> <p>すぐにはみんなあいさつしてくれないかもしれない。でも続けていくことが明日へつなくということじゃないかな。わたしも応援するよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> <p>ぼくのあいさつ運動は、ただ広告をかいて呼びかけているだけだった。まず、自分から進んで実行していく。それが「わたしの30周年記念」ということなんだ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> <p>私も「廊下を歩こう」と呼びかけている。その場では聞いてくれるけど、その後、やっぱり走っている人が多くて困る。</p> </div> </div> <p>2 話し合いを基に自分の取り組みを見直し、今後の活動について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしも さんのように、ただ呼びかけるだけでなく、まず自分からお手本になるようにしていこう。 ・どうすれば聞いてくれる人に思いが伝わるかを考え、発表の内容や仕方をもっと工夫していこう。 ・一人一人のがんばりを集めて、もっとかがやく堀川南小学校になるような「明日へつなくわたしの30周年記念」をして、わたしたちの学校をよりよくしていきたいな。 	<p>取り組んでいる事実だけでなく、なぜその取り組みを行っているのかという気持ちも一緒に聞くことで、自分の取り組みが「明日へつなく」ためのものになっているか振り返られるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">人と進んでかかわる力</p> <p>活動をよりよくするために友達に協力を求めたり、友達に協力したりできる。(発言)</p> </div> <p>これまでの自分たちの活動の歩みが想起しやすいように環境を整える。</p> <p>活動の様子が互いに分かりやすくなるように視聴覚機器や具体物を用意する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">主体的な学習態度</p> <p>自分の活動とつなげながら話し合いに参加し、自分の取り組みに生かそうとしているか。(発言・ワークシート)</p> </div>

(3) 本時の視点

自分の取り組みを見直し、今後の活動への広がりや意欲をもつための教師の支援として、取り組んでいる事実だけでなく、その活動に対する思いを語るような発問や言葉かけ、その思いを構造的にとらえることができるような板書の構成は適切であったか。